

# 4

2002.5

(社)日本作業療法士協会広報誌

# Opera

## オペラ

**特集** スペシャル対談 露崎耕平さんを迎えて

事故で障害を負いながら強い意志と明るいキャラクターで仕事にチャレンジ

障害の告知もショックでなかった  
実践的な作業療法  
仕事は障害に関係なく  
患者は自分の身体のことを知るべき




**レッツ・クリエイト**  
楽しく料理をすることで  
身体を自然に動かせる



**青年海外  
協力隊**

S N A P S H O T

アラブで学んだ知恵  
共存と流動 in シリア



老人保健施設の現実に  
作業療法士の立場  
から見えるもの



～シリーズ～

●生活支援のアイデア  
●いっぱい福祉用具  
●片手でやってみよう



特集  
◎

# 事故で頸髄に障害を負いながら 強い意志と明るいキャラクターで 仕事にチャレンジ

バスケットボール部で活躍する高校一年生が、深夜、棧橋からの  
転落事故で頸髄損傷を負った。持ち前の強い意志と楽天性を發揮、  
作業療法士をはじめ病院スタッフとのすばらしい出会いもあり、リハビリテーションの過程で  
たくさんの経験を大きく成長していった。  
いま車いすのまま数種の仕事をこなす。自分の実体験をリハビリテーションの  
教育に役立てる仕事をめざしている。  
露崎耕平さんと杉原素子（日本作業療法士協会会長）が語り合った。

KOHEI  
TSUYUZAKI



杉原 素子 MOTOKO SUGIHARA  
×  
露崎 耕平 KOHEI TSUYUZAKI



INTERVIEW

### 障害の告知も ショックでなかった

**杉原** はじめて会ったのは、平成九年でした。きっかけは遠隔リハビリテーションシステムに関する研究で、中国との交信の際に登場してもらいました。これまでのオペアでは比較的社会で知られた方との対談だったんですが、今回は一人の高校生が事故で障害を負いながらも、夢を追って生きていく姿に光をあて、作業療法士との出会いを語っていただけたらと思うています。まず、事故の経緯から話してもらえますか。

**露崎** 高校一年の十一月、バスケットボールの部活の後ずっと深夜まで遊んでたんです。棧橋から落ちて浅瀬に沈んでいたのを友人に助けられて、そのまま家に運ばれたんですけど、翌朝、体

が動かないんでヘンだと。首がすごく痛いんで、寝違えちゃったかなって(笑)。その後、病院にはこぼれて、もうろうとした意識の中で、先生たちがダメかもしれないって言うてる声ははっきり聞こえましたね。

**杉原** 自分が受けたケガの重大さがわかり始めたのはいつぐらいから？

**露崎** 手術の後、装具で首が吊られるんですけど、感覚が上がってこないんです。担当の先生は、もっと時間がたてば治るって言うんですけど、周りが違うんですよ。確実に僕に気を使ってるんです。ま、仕方ないか、自分でやっちゃったんだし。でも、腕が動かないのは困るなあって。でもパンが転がって落ちそうになったとき、とっさに左手で止められたんですね。あ、これは大丈夫だっと思ってました。

**杉原** ベッドサイドでの理学療法、作業療法はどいつことをやったのですか。

**露崎** 理学療法はストレッチや柵を使って起き上がる練習ですね。作業療法は歯を磨いたりTシャツを着たりご飯を自分で食べるとか、ワープロを使う練習ですね。

**杉原** 障害についてお医者さんははっきり言ってくれたのですか。

**露崎** 整形の担当の先生が、入院して三〜四月月ぐらいのとき、神妙な顔をしてなにかあるなと思ったら、耕平、もう皆みたいに立ったり走ったりできななんだ、言ったんですね。そのとき僕、全然ショックじゃなくて、ああ、そつですか、と言ったら、先生が意外な顔をしてるんで、車の運転はできますかって聞いたら、それは訓練次第でできる。それなら歩けなくてもいいです。先生





がホントにいいの？歩きたいっていう希望は捨てないですけど、いつまでもそれにしがみついてもねえ。実は僕もすごく知れたかったです。なりゆきでタラタラ行くと、自分が次にどう行動したらいいかわからないんですよ。

## 実践的な作業療法

**杉原** 告知されてリハビリテーションが段々現実的になってきたわけですね。作業療法士との出会いはどうでしたか。

**露崎** 作業療法

士のH先生は僕と年が近いし、先生も高校時代はやんちゃだったこともあってとても親近感がありましたね。毎日診療が終わってから必ず会いに来てくれるんで、身体的、メンタル的に非常に支えられてました。

例えばピンを刺す訓練なんかは、やっているとときは退屈でたまらなくても、後で物を拾うときなど役に立つんだってことがよくわかりました。でも、僕が訓練室でそういうことをやったのはほんの短い期間です。

H先生も高校時代バスケットをやっていたんですけど、耕平、おまえ動きたいだろう、じゃ、こんな訓練はやめてジュースを買いに行こう、って言ってますね。



時間がかかってもいいから自分でジュースを買ってみろって……。ドライバーを使ったり、好きな女の子に電話したり、大半がこんな実践式の訓練でしたね。

**杉原** そういうときに自助具はどうしたのですか。

**露崎** H先生は、おれはそういうのは作らないって言うてました。それを使って生活できるならいいけれど、もし壊れたらもう生活できないぞって。それを病院で作ってもらってる限り、お

前はいつまでも病院から自立できないぞ。これからずっと、レストランで彼女とのデートのときも持つて行くんだぞ、カッコ悪くないか、て言われて。僕もそんなのイヤだったんですね。

**杉原** 例えばどういふもの？

**露崎** スプーンとか、輪っかのついた服とか。どう考えたって服に輪っかがついてるのはおかしいじゃないですか。

**杉原** では、いま持つてる自助具ってどういふの。

**露崎** H先生がひとつだけ作ってくれたツメ切り。今でも使ってます。

## 仕事は障害に関係なく

**杉原** ここ(编者注：家族が経営する

イタリアンレストラン)ではどのような仕事をしているのですか。

**露崎** お店にいるときは接客で、厨房

にいるときはお盆とまな板を置いてその上で包丁を使って大抵のものは切れますね。おもに厨房とお店の橋渡し役、レジをやったり、ドリンクやカクテルを作ったりもしています。

**杉原** 事故の前は何になろうとか考えていたのですか。

**露崎** 芸能人。

**杉原** 合ってるかもしれない(笑)。

**露崎** 今でもなれるならなりたくらい。パフエティもできる俳優がいいな。僕は高校時代バンドをやってて、父親がミュージシャンでした。

**杉原** 料理は作るのですか。

**露崎** 部活の合宿なんかでは、一年生の僕がひとりですべて作りましたね。家は親が一人ともお店に出ちやうんで、小さい頃から親に味噌汁も作れないよっじゃ困るって言われてたんです。味噌汁、カレー、ケーキなんかも作ってました。

**杉原** 将来の生活設計は？

**露崎** 僕、お店をやりたいんです。オーナーシエラは無理なんで、違った形のお店ですね。よく市役所に入りなさいとか言われるんですけど、そういうのイヤなんです。障害者だからこうとか型にはめられるんじゃないかと関係なしにやっていきたいんです。

**杉原** 今までリハビリテーションの専門職の人たちに出会ってるけど、こっ

いのはイヤだ、こうしてほしいとか、一般的に注意してほしいことってありますか。

**露崎** T病院ではなかったですね。こうしたいって言うんじゃ、やってみよう。相手の希望を尊重してそれに対してどうしようか、考えてくれるんです。相手のやりたいことには、この段階で筋肉をこう鍛えないとできないから、じゃ、まずこの段階からやってみよう、とちゃんと説明してくれるんです。これは整形の先生も、リハビリの先生も同じですね。レントゲンや模型を使って絵を描きながらの説明で、自分の身体は自分で管理しないといけないから、ある程度知識がないといけない。はじめての病院でも、自分に適さない治療には理由を言って断れるようではないといけないと言われました。T病院の先生はみんな熱心で、夕食の後も診てくれるし、患者さんは訓練を楽しんでました。訓練室には笑いが絶えず、楽しい入院生活だったですね。

## 患者は自分の身体のことを知るべき

**杉原** 衛星を介して中国の患者さんと話したでしょう。あなたが運転している姿も映したんだけど、中国の人はきつと違いを感じたでしょうね。

**露崎** 僕は日本の進んだ技術をどんどん向こうに流してあげたいと思うんです。それから日本でも病院によっていろいろだけど、医師や療法士が、



INTERVIEW

きみの身体はいまこうだよ、という上からの言い方ではなくて、いまきみの身体はこういう状態でこうなってる。だからこういふことはしない方がいいかもしれない、こういふことは大いにいいと思うよ、と患者さんにちょっと知識をあげるようにしないと患者さんは困っちゃうと思いますね。

同じ目線でこうした方がいいんじゃないの、ああした方がいいんじゃないの、と患者さんに知識をあげるつもりで言っただけで、患者さんは自分の身体が今どうなっているのかわかってないと思う。それで、きちんと教えてあげる必要があると思うんです。

他人任せだとよく瘡がでたり、脱臼したり、いつも心配しながら生きていくことになります。自分の身体をある程度把握して、ここまで大丈夫という限界を知ることです。すごく大切です。

**杉原** 障害者にとって不便なところは？  
**露崎** 僕は日本の福祉は見かけだけだという気がしますね。例えば福祉車両について意見を求められたんですけど、八割が介護車両なんです。自分で乗れる自走式のものがないんです。介護をするのはわかるけど、自分で動ける



人たちへの配慮が全然ないんです。日本の福祉は介護してあげるっていう姿勢がすごく目立つんです。自分で何かをしようという人に対して取り組む姿勢があまり見られないんです。車ができてから意見を聞いたりするから、使えないものができるんですよ。どうして開発の段階からいろんな障害者から意見を聞いて総合して作らないのか。バリアフリーにしても、スロープが急すぎたり、中途半端な感じですね。

**杉原** 日本ではまだまだ障害をもった方々が外に出ていないっていうことかしら。

**露崎** 街で頸髄損傷の人に会ったことって、全然ないですね。ディズニールンドなんかだと、ボランティアの人たちと一緒にケースはあっても、友だちとか彼女と来てるのはないですね。アメリカでは車いすの人もジェットコースターに乗ったりできるのに、日本では一切できませんしね。

自分の体験をリハビリテーション教育の教材に

**杉原** お店をやりたいって言われたけれど、他にやりたいことはありますか。  
**露崎** いまやっている専門学校の非常勤講師の仕事をもっと増やしたいなと思ってます。療法士や臨床医は医学的な知識はあっても実体験のことは実体験をもつてる人にしか言えないじゃないですか。教科書は今年のもものは来年には古くなっても、生きてる僕はそのまま教材になるんです。世の中の変化に対応しながら生きてる僕を教材に、実体験のない医師たちが補えない部分を補ってあげたいですね。

実体験や患者さんのメンタル面、こういうことを考えて、こうされるのはイヤだ、こうしてほしいとか、看護学校や療法士の学校での医学教育とは別に、そういったことを伝える仕事をしたいんです。いくつかの学校で話してきた経験で言うと、看護とリハビリには垣根があるんですね。療法士と、病棟のナースと、家族と、患者と、担当医がきちんとチームになってケアできるのが理想の形なんです。それがきちんとできない医療体制はよくないということ、を、正せるようにしていきたいなと思っています。

療法士との出会いは、患者さん的一生にとってターニングポイントになるんですよ。その療法士を育てる学校って、もっと重要じゃないですか。患者さんに間違った期待をもたせたり、逆に不安にさせたりしない話術とか接し方って、すごく大事です。そういうことを伝えていきたいなと思ってます。

**杉原** ケガをしたことで気づいたことが多くあるような感じがするけど。  
**露崎** すごくありますね。僕、ケガをしてH先生に会えてよかったなあ、って。ケガをしなかったらたぶん普通の兄ちゃんですよ。自由になんか普通の人より、人として得たことの方が大きいんですよ。いろんな人にも会えたり、命の大切さもわかったし、人間っていうのはこうなんだというのを身に染みてわかったんです。

**杉原** 本日はとてもよい話を聞かせていただきました。私たちには考えさせられることがいっぱいあるお話を。これからのあなたのご活躍に大いに期待しています。

PROFILE

露崎 耕平さん

1977年7月21日東京に生まれる。  
93年11月13日、高校1年生(当時17歳)、深夜館山の栈橋からの転落事故で頸髄損傷(5番脱臼、6番粉砕、7番骨折)。  
退院後、ラジオのパーソナリティを経験。現在の仕事はパソコンインストラクター、両親経営のレストラン勤務、千葉医療福祉専門学校で作業療法学科・非常勤講師。







# 青年海外協力隊

## アラブで学んだ知恵 共存と流動—— in シリア

作業療法士 若林秀昭さんの体験レポート

### From Syrian Arab Republic



■シルクロードの隊商都市として紀元前3世紀頃から栄えたパルミラの遺跡。ユネスコの世界遺産にも指定されている。



わかばやし ひであき  
**若林 秀昭さん**

1965年生まれ。  
作業療法士。  
95～97年、シリア脳性麻痺センターに派遣される。  
現在、神戸総合医療介護福祉専門学校に勤務。

シリアはアジアを横断するシルクロードの最西端にあります。さらに西へ向かうとアフリカ、北へ行くとトルコを介しヨーロッパ、南にはアラビア半島が広がっています。地中海にも面しているため、海路においても重要な位置にあります。古くから文明の十字路として様々な民族が交り、首都ダマスカスをはじめ、多

シリアは、アジア、ヨーロッパ、アラビアをつなぐ文明の十字路。  
市場は人々の活気で圧倒されんばかりだ。ところが施設はうってかわって沈滞ムード。そこに飛び込んだ熱血漢が施設長との意見の違いにも憶せず、いにシリア初の作業療法室を完成する。  
イスラムの心にもふれた若林秀昭さんの示唆に富んだレポートだ。

くの都市を築いてきました。民族はアラブ人以外にアルメニア人やクルド人、宗教ではイスラム教徒以外にキリスト教徒もいます。わずかながらユダヤ人も昔から住んでいますが、彼らは中東戦争後も迫害されることがなく穏やかに暮らしています。様々な人々が行き交い、基本には共存する土地柄があるといえます。



■地中海に面したタルトゥースの港。



## 協力隊員 流れ者

1995年夏、私はJICA(国際協力事業団)の青年海外協力隊員としてシリアの首都ダマスカスに到着しました。乾燥と熱気、砂を吸い込んだ鈍い青空が印象的でした。市場の活気にも圧倒されました。多くの人々が集まり、羊肉や香辛料など様々な臭いが混ざり合い独特の空気を漂わせていました。

そんなダマスカスの街で私が派遣されたのは、脳性麻痺センターという障害児の通所施設でした。養護学校とリハビリテーションセンターを合わせたような施設です。そこで私は作業療法士として、もう一人の養護教諭の隊員とともに施設での技術支援活動を始めたのです。

## 停滞していた施設

ところが協力活動を始めてみると、市場でみたような活気あるシリアの人々のイメージとは裏腹に、現地職員による施設の活動は滞っていました。使われない教材や器具が部屋の片隅に置かれ、子どもたちは身動きできない椅子に何時間も座らされたままになっていたのです。とりあえず子どもたちを管理し、職員たちはお茶を飲んでおしゃべりをするのが常になっていたのです。「十分な教材や器具がない。いくら働いても安い労働賃金は変わらない」というのが彼らの言い分でした。

## 対立から対話へ

私たちはまず子どもたちを椅子から



■活動していたシリア脳性麻痺センター。一般のアパートの中にあるので、小さいばかりでなくエレベーターはなく階段のみ。子どもたちはバスで送迎されます。

下ろし、彼らが自由に遊べる環境作りから始めました。壊れた器具は修理してもらったりシリア厚生労働省に申請し、必要な玩具や教材をJICAに支援してもらったり働きかけました。

初めはそんな日本人の活動に対して、現地職員はほとんど関心を示さず協力してくれようとはしませんでした。施設長ともよく言い争いになり、関係を悪くしたこともありましたが、しかし、そんな現地職員でもプライベートでは非常に友好的に接してくれるのです。仕事の後で食事に招待されたり、買い物を手伝ってもらったりしました。次第に私たちのアラビア語も上達し、お互いの言い分をなんとか話せるようになってきました。私たちは公私に渡って彼らと対話を続け、お互いをより深く理解するようになっていったのです。職員達も子どもたちとの活動に一緒に参加してくれたり、私たちの活動に協力してくれるようになってきたのです。

## シリア初の作業療法室

シリアに来て三度目の夏を迎え、私の任期も残り二カ月になる頃でした。施設での部屋の使用が許され、JICAからも機材購入の支援を受け、ついに障害児専門の作業療法室が完成したのです。環境が整ったせいもあつたのですが、それまでお茶ばかり飲んでいた理学療法士や教師達も積極的に作業療法室を使ってくれるようになりました。

## 活動を終えて

帰国して二年后、私は再びシリアを訪れました。初めて施設を訪れたときの印象とは違い、訓練室は子どもたちで活気づいていました。

「最近、施設の理学療法士は休憩もせず仕事ばかりしている。お茶も飲まないのは大問題だ」と施設長が冗談を言っていました。



■センターの職員と子どもたち。中央の女性が施設長で一昨年日本へ研修に来ました。

## 共存すること

現在、世界経済のグローバル化や、あ

私はそれまで小児領域での職務経験が少なかったため、技術移転という意味では満足いく活動はできませんでした。しかし、違った考えをもつ者がセンターにやってきたことで新しい風を吹き込み、それまで停滞していた施設に流れを作ることができたような気がしています。



■センターの子供たち。狭い部屋でどうやって遊ぶか・・・

る意味でそれによつて引き起こされたともいえるテロ事件などが大きな国際問題になっています。その問題を考えてるとき重要なのは、やはり「共存」ということです。「共存」とはすべての人々が同じ考えをもつよう

になることではなく、異なった者同士がお互いの相違を認めていくことです。片倉もとこ氏によると、イスラムの特徴のひとつに「多種多様性の共存と流動」というものがあるとのこと。停滞を作らず、交わって流れを作ること。そしてよく話しをしてお互いの考え方を認め合うことです。古来から多民族、多宗教という地域性が生んだ人々の知恵でしょう。シリアでの活動を通じて私も「共存」と「流動」の重要性を実感したのです。

(参考文献)

片倉もとこ著「イスラムの日常世界」(岩波新書)





# レッツ・ウォーク

## 楽しく料理をすることで 身体が自然に動かせる

作業療法士・今関早苗さんに聞く

# 料理



いまげき きなえ  
今関 早苗さん

昭和33年生まれ。  
昭和54年5月に作業療法士免許取得。  
昭和56年4月より東京労災病院リハビリテーション科に勤務。

創造性を刺激する

家事作業といえは料理だ。

材料を買い集め、調理するプロセスの

あちこちに発見や工夫がある。

その一連の動作にはいろいろな身体動作が

含まれるので、作業療法ではプログラム化されている。

今回は急性期医療の現場で料理訓練に取り組んでいる、

東京労災病院の作業療法士・今関早苗さんをたずねた。

### 独身男性にも料理訓練を

入院して三カ月目になるTさん(六

四歳男性)の料理訓練を見学させてい

ただいた。左半身の軽い麻痺と右半身

の筋力低下がある方で、歩行障害もつ

よい。独身なので退院してからみそ汁ぐ

らいは作りたいとの本人のつよい希望だ。

「料理訓練の対象患者さんは、退院

してからも台所仕事を行う人で、だい

たい女性なんですけど、Tさんのよう

に独り暮らしで料理をしなければいけ

ない人も対象になります。介護保険で

ホームヘルパーさんに頼むこともでき

ますが、自分で料理したいという男性

も増えていきますね」と今関さん。

最近では比較的若い独身男性にも脳卒

中が多いという。四〇代、五〇代の独身

男性で脳卒中になるのには、食事が大





いに関係しているらしい。だから退院してもとの食習慣にもどらないよう、料理とともに減塩や低脂肪など栄養の知識を栄養士の協力を得て教えることも大切だ。といつても、病院で教えることのできる料理はあくまで基本。退院後はヘルパーさんと一緒に作るようにするなど、ケアプランを立てるときには十分考慮する必要があるそうだ。

## 分かりやすく 実践的な料理訓練

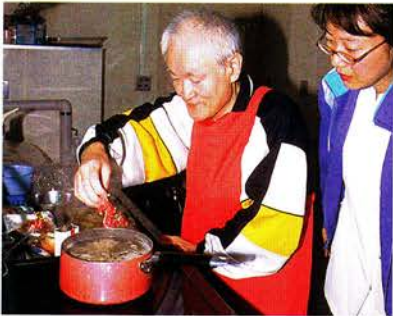
「うちのよう急性期病院（編集部注：法令により平成十四年五月では平均在院日数が二六日以内の病院）では、料理訓練なんかやってる時間はないんじゃないか、と一般には思われていると思うん



です。料理訓練は通常は杖や車いすなどによる移動方法が決定し、かなり訓練が進んでから行うことが多いので、今関さんたちのように、患者さんが立位訓練のひとつとして料理を行うというのはきわめてめずらしい。

「料理訓練のいい点は、台所は前に寄りかかれるので比較的安定して行えるということ。ふつう立位による訓練は一〇分ぐらいでけっこう精神的に疲れるんですが、料理は作り終えなければいけないので、自然に立位耐久力を高めること

ができるんです。モチベーションが高いということですね。料理には、棚の上のものを取る、かがむ、中腰になる、冷蔵庫から取



ってくるなどの応用的な立位動作がひとつの時間の中でいっぱい入っています。これを通常の訓練で全部行うとけっこう大変なんです。料理だと自然にできるんですね。何もなしに「かがんで

みせて」と言っても、必要性を理解できないし、ムツとする人もいますが、「ジヤガイモ取って」と言つと、自然に本人がいちばんラクな姿勢でかがむと思うんです。危険ならここを持つといいよ

とか、実践的な場面でアドバイスをできるし、ふつうの訓練より本人も理解しやすいんです。たしかに料理という具体的な目的（プラス後で食べる楽しみ）があれば、どこそこの機能の訓練というよりははずっとモチベーションも高まるはずだ。

## 短い入院期間に 訓練を凝縮

「さつきTさんが、両手を離すとぐらぐらするって言うてましたけど、あの方は自分は大

丈夫だという思い込みが、つよくて普段は認めたらがないんです。それがいろいろな動作をしながら料理を作っているうちに、



自分の問題、現状というのがよく分かってくるんです。

台所の環境についても、冷蔵庫と流しの距離がどうだとか、床下収納はないとか、高い棚は使えないなど、自宅の環境調整を退院するまでにやっておくことができます。ご家族も患者さんが退院して帰ってくるまでに、手の届く範囲に必要なものを置きかえる準備ができるわけです。患者さんの能

力に合わせた環境づくりを本人とご家族にアドバイスして、退院までに整えてもらえる、これも早めに訓練を行うメリットですね。実際どれぐらい早いかというと、料理訓練が行われるのは、理学療法では平行棒を使ってやっと立つたり歩いたり訓練を行っている段階だ。立つたり、かがんだり、横を向いたり基本動作を理学療法士と一緒にやっています。

「入院期間が短く、早く全部凝縮してやらなければいけないので、料理訓練を利用して基本動作も一緒にやっているわけです。もちろん実施する前にはその人ができる状態にあることを確認し、危険のないよう評価を十分行っています。今後の料理訓練はどうなるのだろう。

料理の楽しみとか家庭の中での料理の役割を考えると、より人間的な生活の実現やQOL（生活の質）の維持のために、ますます料理訓練は必要になってくると思っんです。身体維持の効果も無視できません。ですから早期のリハビリテーションの中でも、私たちは応用性が高く、モチベーションの高い料理訓練を続けていこうと考えています。

準備などにも手間のかかる料理訓練だが、今後の展開に大いに期待したい。



# SNAPSHOT

TAKEFUMI ICHIZU



## いま、介護老人保健施設では… 作業療法士の立場から 見えるもの

横浜、東京の通勤圏として発展している神奈川県大和市。  
市内には年数を経た県営、市営、公団等の集合住宅も多く、  
近年、高齢者人口の増加がめだっている。南大和老人保健施設「さくらぶらざ」は、  
そんな地域の老人介護の中核的存在だ。また、県内の介護老人保健施設の中では  
早くから作業療法士を採用しモデルケースとしても注目されてきた。  
ここで開設から10年余り勤務している市津武文さんを訪ねてみた。

### 草創期の老人保健施設 での苦勞は？

私はここに開設と同時に入職しました。私が入る前から理学療法士や訪問看護にくわしい婦長が立ち上げに尽力されていたんです。リハビリテーションに理解ある方が中心になって、作業療法士としてはとても恵まれた仕事環境でした。当時は老人保健制度ができてまだ日が浅く、老人保健施設のリハビリテーションはこうあるべきだといったモデルがなく手探り状態でした。それをイチから作っていくというわけで、利用者の日常生活動作能力を把握するため入浴介助もしました。また、老人保健施設は生活リハビリテーションを基本としており、利用者が生活の中で自立した生活ができるように歩行器やポータブルトイレの柵など当施設独自のものを自分たちで製作しました。また、施設の空間を有



効に活用するためのいろいろなものを製作したりもしました。苦勞というより楽しんでやっていましたね。

### 施設の概要、目的は？

1976年に地域医療の中核として開設された南大和病院が母体となっており、91年に南大和老人保健施設が開設されました。施設は入所88床、通所リハビリテーション10名で建物は鉄筋4階建てで生活の自立度に応じて2階、3階、4階に療養室があります。地域の中の老人保健施設の役割のひとつに在宅復帰支援があります。病院などから移ってきた方にリハビリテーションを行い、ある程度在宅で生活できる状態まで回復してから復帰してもらっています。その際、お宅にうかがって家屋調査を行い、家屋改造や福祉用具についてアドバイスをします。そして、在宅生活が継続できるように通所リハビリテーションや当施設の定期的利用に結びつけていきます。もうひとつは在宅生活支援です。この施設の特徴でもありますが、利用者は自宅と施設を1カ月交替で利用し在宅生活を継続されている方が多く、約40名います。施設利用により身体機能を維持すると共に介護者がその間休養していただくのです。また、家族が冠婚葬祭や旅行などの際に利用するショートス

に活用するためのいろいろなものを製作したりもしました。苦勞というより楽しんでやっていましたね。



■習字ではひらがなより漢字が好まれる。ゆっくりした筆遣いだが真剣そのもの。手芸は一見単純そうでも色・柄を変えたり奥が深い。



作業療法士

いちず たけふみ

市津 武文さん

1954年生まれ。南大和老人保健施設・さくらぶらざ開設時より今日まで11年間老人のリハビリテーションに関わる。



テイがあります。利用期間は中間施設という性格上、3カ月、長くても半年位をめぐりに在宅介護が困難な方は介護老人福祉施設などの施設に移っていただくこととなります。

ある程度身のまわりのことを自立してできる状態になったら、在宅復帰してもらいます。その後もリハビリテーションプログラムを定期的に利用されることもあり、隣り(南大和クリニック)で通所リハビリテーションを利用される場合もあります。

### 作業療法の目的と実際は？

手芸やレクリエーションにより、利用者間の対人交流を活発にし、活動性の向上や意欲の向上、趣味・生きがいの援助を目的に作業療法を行っています。月曜から金曜まで1日4コマのプログラムを行っています。内容は、織物・レザー・木工・給手紙・紙細工などの手芸、歌・風船ハレー！ゲームなどのレクリエーション、習字、体操、運動療法、温熱療法などです。入所当時、夫を亡くしてから寂しさに死にたい、死にたいと言っていた利用者が作業療法士との信頼関係や作業を通じて手芸が生きがいとなり、見違えるほど元気になった方もいます。訓練室でのリハビリテーション

ただでは病院と同じです。生活の場ということを考えれば、施設の中で役割を持った作業を行うことで生活に張りを持たせることも大切です。その意味で施設のおしぼりをたたんでもらったり、バルコニーで植物の面倒を見てもらったりしています。



### 施設の抱える課題は？

老人保健施設の本来の役割は在宅復帰を促すことですが、最近になり在宅で過ごせる方が年々少なくなっています。当施設では、1カ月に120名ほどの利用者のうち、在宅復帰を目的としている方は1割程度です。在宅介護が困難な方がますます増え、施設生活の比重が高くなっています。

ここが介護老人福祉施設に入所するまでの中間施設、あるいは代替施設として利用されているのかなど。

いまや在宅介護が困難な人を度外視できないところまでできていますね。在宅復帰されてもそのままでは機能が低下してしまうので、定期的に入ってもらってリハビリテーションを行います。定期的に利用していると友だちができ、社交の楽しみも増えます。一方、家族にとっても介護をずっと続けることは大変です。1カ月間でも入所してもらえば1カ月間休める。するとまた介護する意欲が湧いてくる。そうやって、ぎりぎりの在宅

介護を行っている家庭が結構多いんです。

### 今後の展望は？

施設生活におけるリハビリテーションの目的は、日常生活能力を維持すると共に、いかに生活の質を充実させていくかにあると思います。ここでも、リハビリテーションのプログラムに参加が困難な重い痴呆をもたれた方や寝たきりの方の生活の質をどのように高めたいかが今後の課題です。また、お年寄りといっても一人ひとり興味は違うので、できるだけ多くの人が興味をもち、生きる意欲を引き出せるよう、プログラムのバリエーションを増やしていきたいですね。それには現在の作業療法士だけでは足りず、地域のボランティアにもどんどん入ってもらい、作業療法士はそれらのコーディネーター役になればいいなと思っています。



■スペースを有効活用するための市津さんのアイデア。平行棒に天板を乗せるとテーブルに早変わり。



■南大和老人保健施設 さくらぶらざ







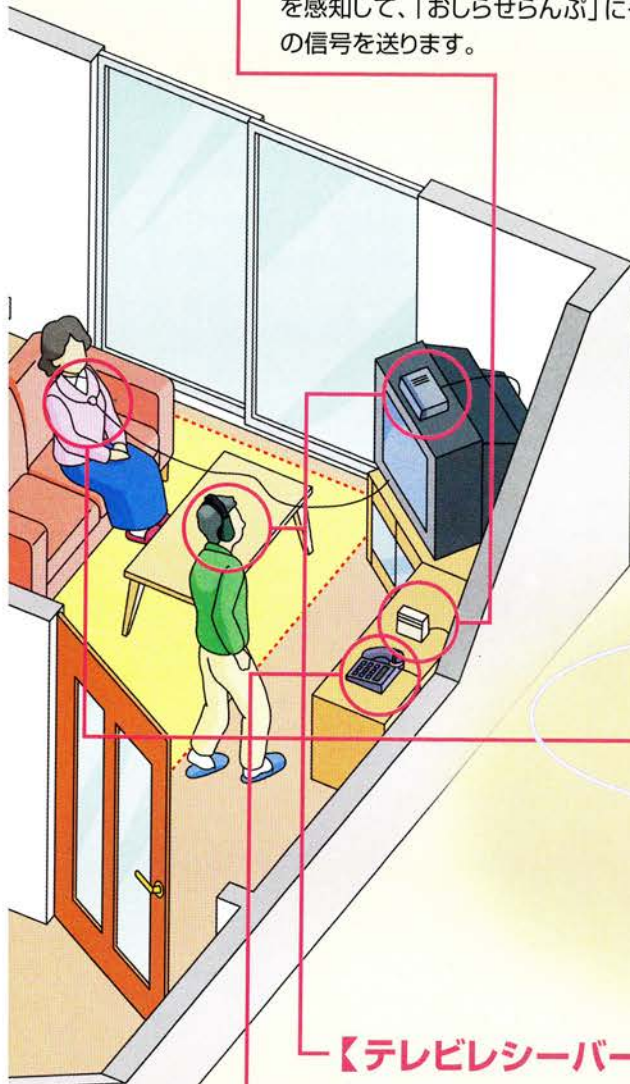
# ハッピーの福祉用具

## 【\*電話用音センサー】

電話がかかってきた時のベルの音を感じて、「おしらせらんぶ」にその信号を送ります。

## なるほど快適! 「聞く」ことを 楽しくする ハイテク製品たち

今回のテーマは「聞く」です。私たちは音に囲まれて生活しています。音や声が聞こえにくいと、なにかと不便です。聴力のおとろえを補うハイテク製品は必需品ともいえるでしょう。そんな製品の中から毎日の生活が楽しくなるような製品を選んでみました。



## 【タイループ】

テレビ等につなげると、ループから磁波が発生し、それを補聴器の誘導コイルを通して直接聞くことができます。

定価¥4,800

■お問い合わせ  
販売元:リオン株式会社  
☎.042-359-7880



## 【テレビレーザー】

赤外線を利用し、テレビなどの音をレーザー（ヘッドホン）に送ります。ヘッドホンをつけ、コードがないので、部屋の中で自由に明瞭にテレビ・ビデオの音声が聞けます。定価/価格はお店へお問い合わせください。

■お問い合わせ  
販売元:リオン株式会社  
☎.042-359-7880



## 【テレホンエイド】

電話の受話器にはめて声を大きくします。受話器からの音の調整は2段切替が可能です。また、音を出さずに誘導コイル付補聴器専用にもできます。携帯にも便利です。

定価¥10,800

■お問い合わせ 販売元:リオン株式会社  
☎.042-359-7880





# 生活支援のアイデア

## 【\*ドアチャイム用音センサー】

ドアチャイムの音を感知して、「おしらせらんぶ」にその信号を送ります。



## 【おしらせらんぶ】

FM電波を利用して、ドアチャイム、電話機などの音センサーから信号を受けて、ランプが点灯して知らせます。バイブレーターをつなぐと振動で知らせます。

定価¥95,000 (バイブレーターは別販売)

■お問い合わせ 販売元:リオン株式会社  
☎.042-359-7880

\*おしらせらんぶのシステム機器です。  
■電話用音センサー ■ドアチャイム用音センサー

## 【メガネ形コルチーン・エクセレンス】

使う人の聴力に応じて最適の音質に調整できるメガネ形補聴器です。テレコイルつきなのでループを設置している劇場やホールなどでは、快適な聴感を楽しめます。

定価¥130,000

■お問い合わせ  
販売元:コルチーン補聴器株式会社  
☎.03-3813-9911



## 【テレビエイド】

テレビの音声を磁波に変え、付属のシート(フラットループ)から補聴器へと音声が届きます。部屋の雑音に影響されることなく、テレビの音も大きくする必要がないので、家族と一緒にテレビを見ることができます。

定価¥48,000

■お問い合わせ 販売元:リオン株式会社  
☎.042-359-7880

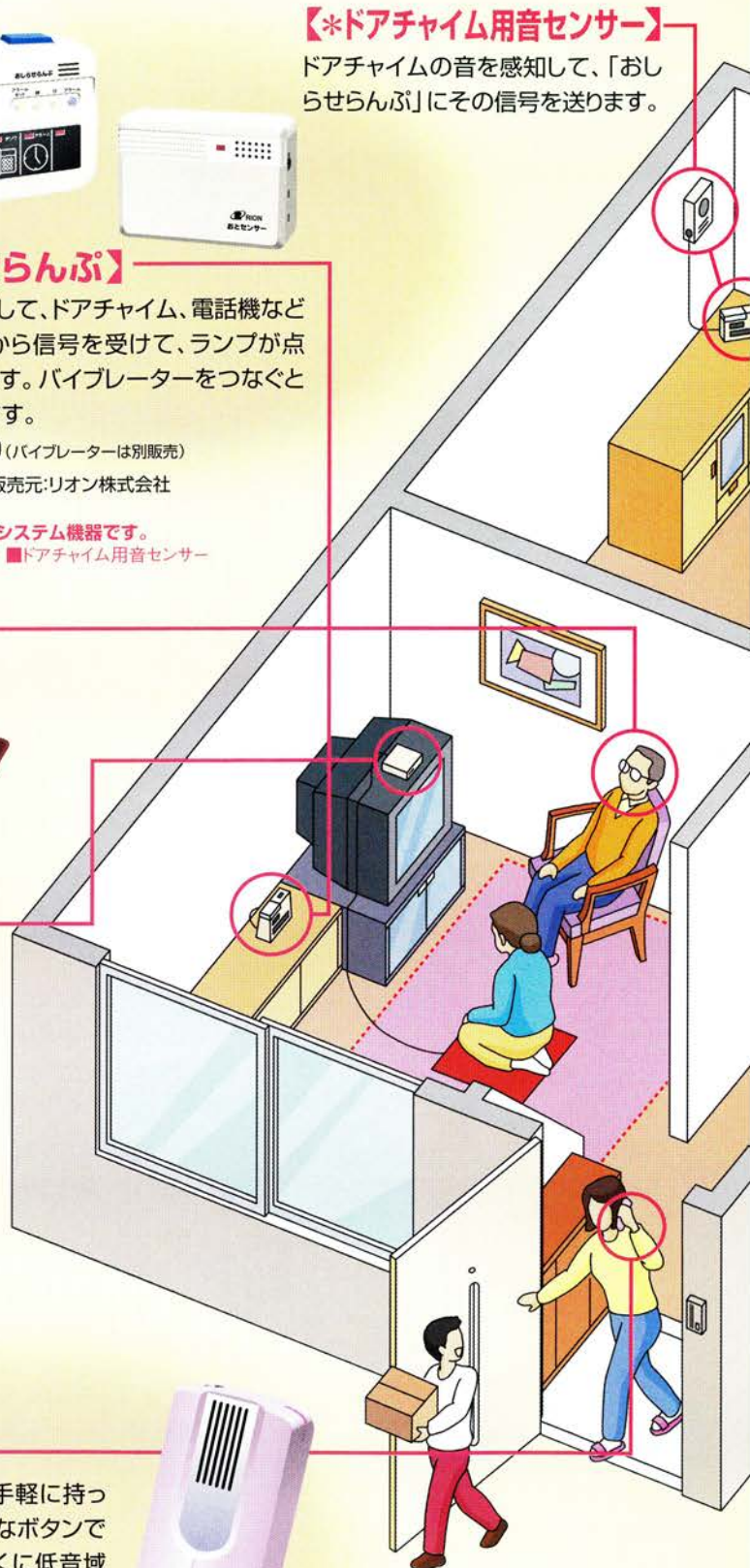
■ --- フラットループシステム 床に敷設したフラットループにより補聴器の誘導コイルと直接磁気結合するため、周りの騒音に煩わされず、また音源からの距離に関係なく、明瞭な聞こえが実現します。フラットループは同じ高さであれば、移動しても感度は変わりません。

## 【ボイスメッセ】

ポケットにも入れる大きさ、どこにでも手軽に持っていける(ハンディ)助聴器です。大きなボタンで使いやすく、聞き取りやすいようにとくに低音域を増幅しています。イヤホンも使えます。

定価¥12,800

■お問い合わせ 販売元:株式会社アクティブスタイル  
☎.03-5547-5895





# 片手でやってみよう

4

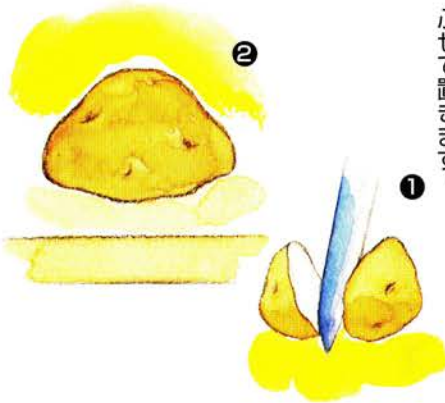
## どうやって ● むくの

■右の図のように、片手で皮をむこうとすると対象物が逃げてしまい上手にむけません。やっぱり片手ではムリなのでしょうか？



ここからチャレンジ! さあ、やってみよう!

1 断面をふせる  
切った断面をまな板に  
ふせて置きます。



2 皮をむく  
うえから下に  
むかつて皮を  
むきます。



皮むきではありませんが...



●まな板の両端に釘を打ち、その釘にゴムを渡して固定用になります。菜っ葉など、バラバラになりやすい物を切る時便利です。

そのほかにもこんな方法が...



※ワンポイントアドバイス  
まな板に釘を打つ前に細い穴をあけておきましょう。  
釘の先は丸く削った方が安全です。

●まな板の裏から三本の釘(ステンレス製)を打ち抜き、突き出した釘に対象物を刺します。固定された野菜をむき器でむきます。

ケガで片手しか使えない時、困った経験はありますか？そんな時のちよつとしたアイデアを紹介します。

調理の際に行なう、野菜や果物の皮むき。あなたなら片手でどのようにむきますか？





## パンフレットのご案内

### OCCUPATIONAL THERAPISTS

#### 作業療法ガイド



私たちに会いに来ましょう。

### 「協会パンフレットをご活用ください。」

パンフレットは写真の「作業療法士ガイド」「作業療法ガイドミニ版」「くらしを支援する作業療法」「訪問リハビリテーション作業療法(OT)のご案内」「作業療法士(OT)は、あなたにあった福祉用具や住宅改修を提案します。」の5種類があります。作業療法の啓蒙活動にご活用ください。お申し込みは協会事務局まで。今後も順次、種類を増やしてまいります。



■お申し込み  
日本作業療法士協会(事務局)  
☎03-5826-7871

■日本作業療法士協会  
広報誌「Opera」2号、3号

## 医療・福祉・保健サービスの向上を目指して

(社)日本作業療法士協会は、国家資格である作業療法士からなる職能団体で、昭和41年9月に結成されました。昭和47年に世界作業療法士連盟(WFOT)に加入し、昭和56年には厚生省より公益法人として認可されました。

当協会は、作業療法士の学術研鑽ならびに人格資質の向上に努めながら、作業療法の普及・発展を図るとともに、医療と福祉の向上、国民の健康の発展に寄与することを目的としています。

作業療法士は乳幼児から高齢の方にいたるまですべての人々で、身体または精神に障害がある方や将来、障害が予想される方に、医療ばかりでなく、福祉・保健領域にわたり幅広いサービスを提供いたします。作業療法は、作業活動を用いて身体・精神の諸機能の回復や維持・開発を行うための、治療・訓練・指導および援助です。作業療法の活動の場は、病院から地域、医療から福祉の場へと大きく広がっています。高齢の方々や障害者の方々に合った福祉用具の選定や適合、各種の福祉サービスの紹介などを含めたライフプランニングを行い、ご本人やそのご家族がよりよい生活をするためのコーディネートも行います。

また、青年海外協力隊派遣を積極的に行い、発展途上国の医療・福祉の発展に貢献するとともに、各種障害者団体の活動を支援しています。



# こころ豊かに生き生きと

## 作業療法って、ご存知ですか？



作業療法 (Occupational Therapy=OT)

「作業=Occupation」は生きていくための必要な条件としてとらえられ、長く使われてきた言葉です。「何かをしている、何かをして時間を占める」ということを意味しています。生きていくための必要な条件としての行為とは、労働、日常生活上の行為だけでなく、趣味、遊び、創造活動など、人が人として生きていくために行うあらゆる活動を指します。それら全てが作業療法の治療手段であり、達成目標となる「作業」です。

これにちなみ、OT協会広報誌は、ラテン語で「作業」を意味するOperaと名づけました。明るい語源にふさわしく、作業療法に関する面白くてためになる読み物・インタビューによる親しみやすい紙面づくりを目指しています。

**JAPAN** 社団法人  
**日本作業療法士協会**  
JAPANESE ASSOCIATION OF OCCUPATIONAL THERAPISTS

事務局／東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル  
TEL:03(5826)7871 FAX:03(5826)7872  
ホームページアドレス <http://www.jaot.or.jp>